

4 農畜産物を活用した商品力向上支援

農商工連携マーケティング講座

1 活動の背景と目的

消費者の食に対する安全・安心志向が高まり、地元の新鮮な農産物に注目が集まる中、「農商工連携」による新たな食品開発や事業展開が期待されている。

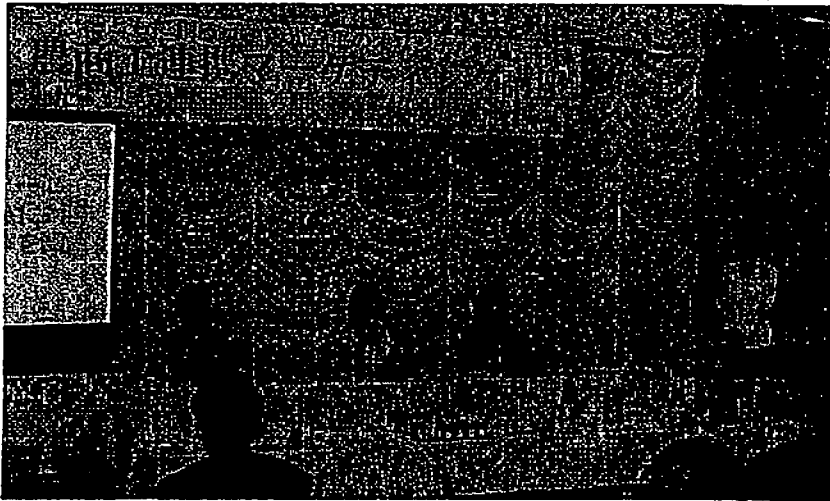
そこで、中小企業者と農業生産者のマッチング機会を提供し、マーケティングの基本を押さえた「選ばれる商品づくり」について共に考え、実践的なビジネスプランづくりやテスト販売等への挑戦を目指す講座を開催した。

2 活動経過と実績

	日時・会場	内 容
第1回	6月18日 カバ 所山王 (参加者 43人)	「農商工連携に求められる経営を考える」 講師：中小企業診断士 滝澤恵一 氏 「消費者モニターによる自社商品に対する率直な声を聞く」 講師：旬良品工房 代表取締役 白田典子 氏ほか 商品評価 20点
第2回	7月1日 長野合庁 (34人)	「自社の強みを活かし、どの土俵で勝負するか」講師：滝澤恵一 「地域農産物の加工特性等を知る」 講師：パシフィック&フルーツ協会講師旬コスモファーム 代表 中村敏樹 氏 「農商工連携への支援施策と活用事例を知る」 講師：(独)中小企業基盤整備機構関東支部 天野良英 氏
第3回	7月22日 佐久方面 (25人)	「農商工連携の実際の事例を視る」 視察先：旬和泉屋菓子店、信州森のファームチロリン村(佐久市他)
第4回	8月7日 カバ 所山王 (34人)	「選ばれる商品、仕組みと経営マネジメントを考える」 講師：中小企業診断士 滝澤恵一 氏他
第5回	8月28日 長野合庁 (21人)	「ビジネスプランづくりと評価、見直し」 講師：中小企業診断士 滝澤恵一 氏 4班に分かれてワークショップ
第6回	9月28日 長野合庁 (32人)	商品力の向上 食品表示・パッケージデザイン他 講師：地域資源製品開発支援センターチーフプロデューサー 鈴木進氏 工業技術総合センター環境・情報技術部門 長瀬浩明 氏他
第7回	10月22日 カバ 所山王 (48人)	「テスト販売等に向けた企画づくりと商品プレゼンテーション」 講師：旬良品工房 代表取締役 白田典子 氏 (株)伊勢丹 浦和店 営業統括部長 高橋純平氏 簡単商品クリニック 24点
	11月～	首都圏大手百貨店・地元販売店等でのテスト販売への挑戦
第8回	22年 1月20日 カバ 所山王 (29人)	「事業者から経営者になろう」 講師：中小企業診断士 滝澤恵一 氏 「わが社の経営展開について～良質な原材料を生かした商品作りの挑戦」講師：旬宮城商店 宮城 恵美子 氏 参加者同士の意見交換

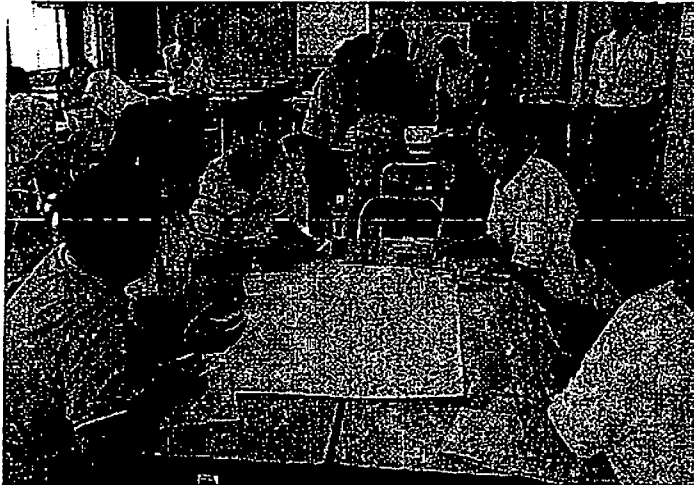
事務局 善光寺平地域産業活性化協議会（財）長野県テクノ財団善光寺平地域センター
企画運営 長野地方事務所商工観光課、農政課、長野農業改良普及センター
支援機関 地域力連携機関の商工関係支援の6団体

参加者 加工業者 11社 農業者 16個人及び団体 流通他関係業種 8個人及び団体
開発・開発中商品 8点（果樹4点 きのこと1点 食肉3点）



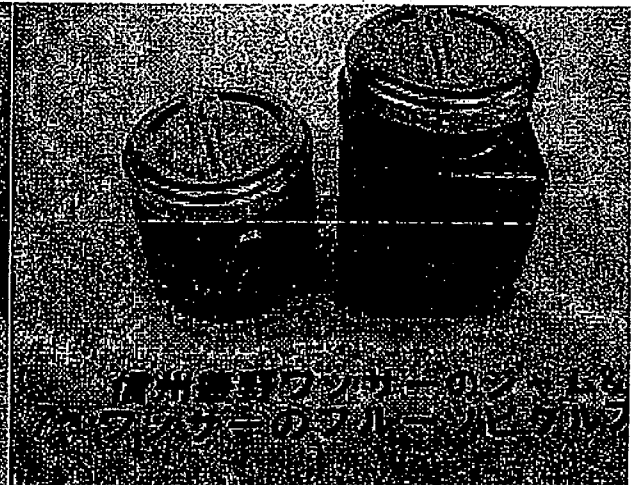
講座の内容は、①農業者から農業経営者になる ②自社の経営資源を把握する ③商品づくりの仕組みについて ④商品評価の体験 ⑤ビジネスプランをたてるワークショップ ⑥農商工連携の事例視察 と基礎から実践までの流れを重視した内容とした。

第1回消費者モニターによる商品評価



第5回ワークショップ

農業者と加工業者一緒にビジネスプランの作成



豊野果樹農家と千曲市の加工業者の
マッチングによる商品。

3 結果と考察

運営面では事務局や企画は商工関係と農業関係双方で行い、調整や協議に多くの時間をかけた。またマッチングや商品開発・経営支援は商工団体と連携したことで専門的な支援をすることができた。

受講生も農業者・加工業者・流通業者がいっしょに参加したことにより、お互いの現状や考え方を知ることができ理解が深まった。

一方共通に理解できる講座内容であったため、農業者・加工業者それぞれに深まった研修ができなかった面もある。

参加者は若い農業者が多く、自社農産物の商品化を図りたいという意欲を持った人が多かつが、どうやって進めてよいか方法がわからない農業者が多く見られた。

農産物の加工品を自社農園の経営戦略のひとつに位置づける動機づけと、商品化に向けた足がかりがつかめた。

マッチングによる商品化は検討中も含めて8点あり、すでに販売した商品は6点ある。

4 今後の課題

自社農園の農産物や加工品の特徴を把握し経営戦略が立てられる農家支援、販売相手にきちんと情報提供や販売促進ができる農家支援を行う。

法人や生産組織の農産物加工品づくり、流通のしくみづくりと実践を支援する。

農商工連携市場創出研究会

1 目的と内容

農業生産者にとって閑散期である冬期に食品製造者等を訪問し、経営方針のお話しや工場見学等を行い、地域農産物に対する企業の期待や思い等を理解していただくとともに、参加者の皆様からはこだわりを持った農産物について発信して頂く意見交換の場を設け相互に交流を行なった。

	月 日	内 容
1	平成22年2月2日 参加者 12名	1 ディリーフーズ 株式会社 (坂城町) 2 アスザックフーズ 株式会社 (須坂市)
2	// 2月9日 参加者 13名	1 有限会社 宮城商店 (千曲市) 2 株式会社 ミールケア (長野市)



加工業者の現場や取り組みを知ることによって、どんな農産物を提供すればよいか具体的に理解できた。

加工業者のビジネスとしての姿勢の厳しさや地元農産物や安全な農産物への期待も実感できた。

具体的な取引についても今後の発展が期待される。

商談会および販売促進の実践

- * 4月2～31日 善光寺ご開帳 ぱていお大門《信州蔵市》出店 7加工所
- * 7月末～9月 軽井沢マルシェ クーカル2009 新幹線軽井沢駅コンコース 5農家
- * 9月26・27日信州まるごと産業フェア 東京ドームシティ 4農家・業者
- * 10月15日～20日 伊勢丹新宿店 祭事コーナー「ミルクの力」出店 黒姫高原牧場
- * 10月20～21日 フードサービス・トレードショーサンシャインシティ 4農家
- * 11月30日 京都吉兆 新米コンテストエントリー 2農家



- * 12月15日 第1回 いいものプロジェクト信州 商品評価会 6点
- 第2回 平成22年3月18日
- * 2月15日 信州の名品発掘商談会 in東京 コンベンションホールAP浜松町 2農家・社
- * 平成21年度農業ビジネスプラン実践支援事業の活用 信濃町黒姫高原牧場販売促進
- * 平成22年2月8～10日

 スーパーマーケットトレードショー 東京ビックサイト 4農家・業者